

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 染矢 つや子

山名	鎌倉山 (950.5m)	行事名	例会
ルート	葛川市民センター～モミジ平～ぶな平～鎌倉山		
山行日	1月20日(日)	天気	曇り時々晴れ
参加名	リーダー：染矢 サブリーダー：鈴木 男性：佐坂 山口 女性：徳田 内匠 岡本 大谷 合計：8名		

ルート概略図	コースタイム			
	地名 特定地	時：分	地名 特定地	時：分
	葛川市民センター	着 8:20 発 8:45	ぶな平	着 13:50 発 14:00
	モミジ平	着 9:40 発 9:45	モミジ平	着 14:05 発 14:15
	ぶな平	着 10:35 発 10:45	市民センター	着 14:30
	標高750m 付近(昼)	着 12:00 発 13:20		

山行報告

鈴木車・佐坂車に乗り込み田辺を6時30分に出発。大原、途中トンネルを超え山の積雪を気にしつつ車窓から雪を眺める。ぐるっと周れた時のことを考えて車1台葛川小学校横に駐車。市民センターに到着。すでにたくさんの車、これなら「鎌倉山」まではトレースがあると少し気持ちが楽になる。各自準備体操後出発。車進入禁止の鎖横に入る。あらら・踏み跡なし・まさか？あのかくさんの車の主達は何処に登ったのでしょうか！！やはり人気の武奈ヶ岳でしょうか？鈴木さんを先頭に雪で丸太が隠れた階段の急登を登る。通常30分のところ55分かかって「モミジ平」に。少し登ったところで雪が深いことを確認して全員ワカン装着。「苦しくなる前に先頭交代」SLが声をかける。先頭で頑張った人が後ろにくると皆口を揃えて「後ろは楽やなー」と・・ホント今日は8名と多くて良かった。「4人やったら諦めて帰ってるなー」とのつぶやきあり。「ラッセル・ラッセル、遠慮しないでどんどん交代してね」と皆の頑張りを期待する。雪国育ちの大谷さん、わかん初挑戦の岡本さんもよく頑張ってくれました。前からも後ろからも誰も来ません。深い雪との戦いが3時間を超えた。12時 標高750m付近 今日はこちらまでとして昼をゆっくりめにとる。この先はどんなものかと大谷さんと道案内の印をたよりに登っていく。頂上がどこであるかほぼめどがついたところで制限時間Uターン。皆を待たせ寒いめをさせてしまい申し訳なかった。モミジ平でわかんをはずす。頂上には到達できなかったけれど、想像以上の大雪に時々転倒しながらも皆さん大はしゃぎ、時折太陽も顔を出し満足してもらえた雪山山行となりました。今回のような雪はピッケルよりストックの方が歩き易いことを実感し、両方持参がベストだったと反省しています。

ヒヤリハット

下山中、朽ちた1本の木が倒れ登山道を横断。メンバーの4人目と5人目の間だったので人がなく助かった。

ワカン歩行

内匠美佐子

今年は早くから大雪情報があり一段と寒さ厳しい冬です。そしてウィンタースポーツを楽しむ季節。久し振りに物置からワカンを引っ張り出し、雪の上を歩きたいなと思っていたところ、ちょうど山行案内でラッセル、ワカン、雪山入門がありグットタイミングでした。

天候よし9時前、葛川市民センター駐車場にはたくさんの車が停まっていた。車道に雪はないが里山一帯は雪景色です。それぞれ登山準備、体操をして8名が一行になって雪の山に入って行く。すぐに「誰も入っていない、踏み跡がないよ、あんなに車があるのに皆、武奈や比良の方へ行くのかな、景色がいいからね・・・」の会話が聞こえてくる。鎌倉山登山口から急登の雪道を暫く歩く。林道を横断してさらに登りが続く。いよいよ雪が深くなり、ここからワカンを装着。先頭を歩くのは歳の若い順となった。鹿の足跡が点々とありよく分かる。踏み跡がない雪の上を歩くのはすぐに疲れるが、誰も歩いていない所を踏むのはとても気持ちいい。風もなく静寂な山、木々に積もった雪景色を見上げる。太陽の光に照らされキラキラと輝いている雪はなんとも綺麗！徐々に高度を上げて行くが、先頭に行く人は5分目で交代していく。テープマークが不明になると行く手が分からず進まない。ワカンでも膝まで沈み込み交互に足が上がらない。右の方、左の方と声かけながら8名全員が先頭、ラッセルを経験する。2番手、3番手と歩く人は楽歩行です。皆で先頭の苦労を実感する。今このあたりかと地図をみるとまだ鎌倉山は先である。出発して3時間、通常の倍近くかかっているのでここでUターンしましょうと意見が一致する。昼食後、頂上を極めなくても雪遊びは満足と言いながら下山。下山はスイスイですがワカンを付けての下りは太ももあたりの筋肉が徐々に疲れてくる。ワカンを外すと足取りも軽くなるが、下りは滑りやすくより注意しながらの下山でした。次はクロカンで山歩きを楽しみたいと思っています。久し振りのワカン歩きとても楽しかったです。

